

# はやぶさ2再び着陸



発行所  
山形新聞社  
〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12  
総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)  
(c)山形新聞社2019

2019年  
7月11日  
〈木曜日〉

速電  
報版子

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



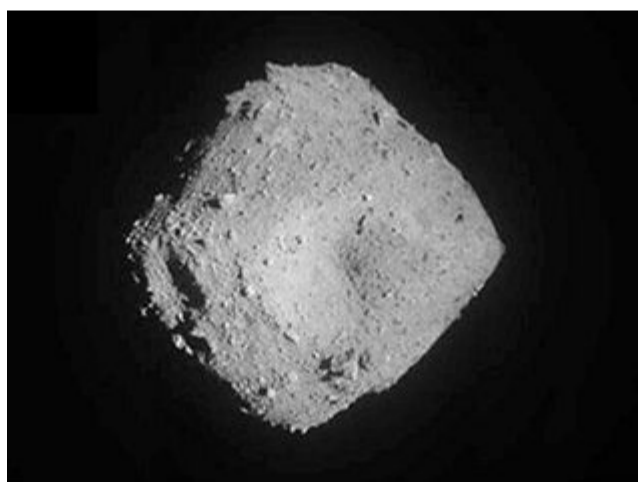
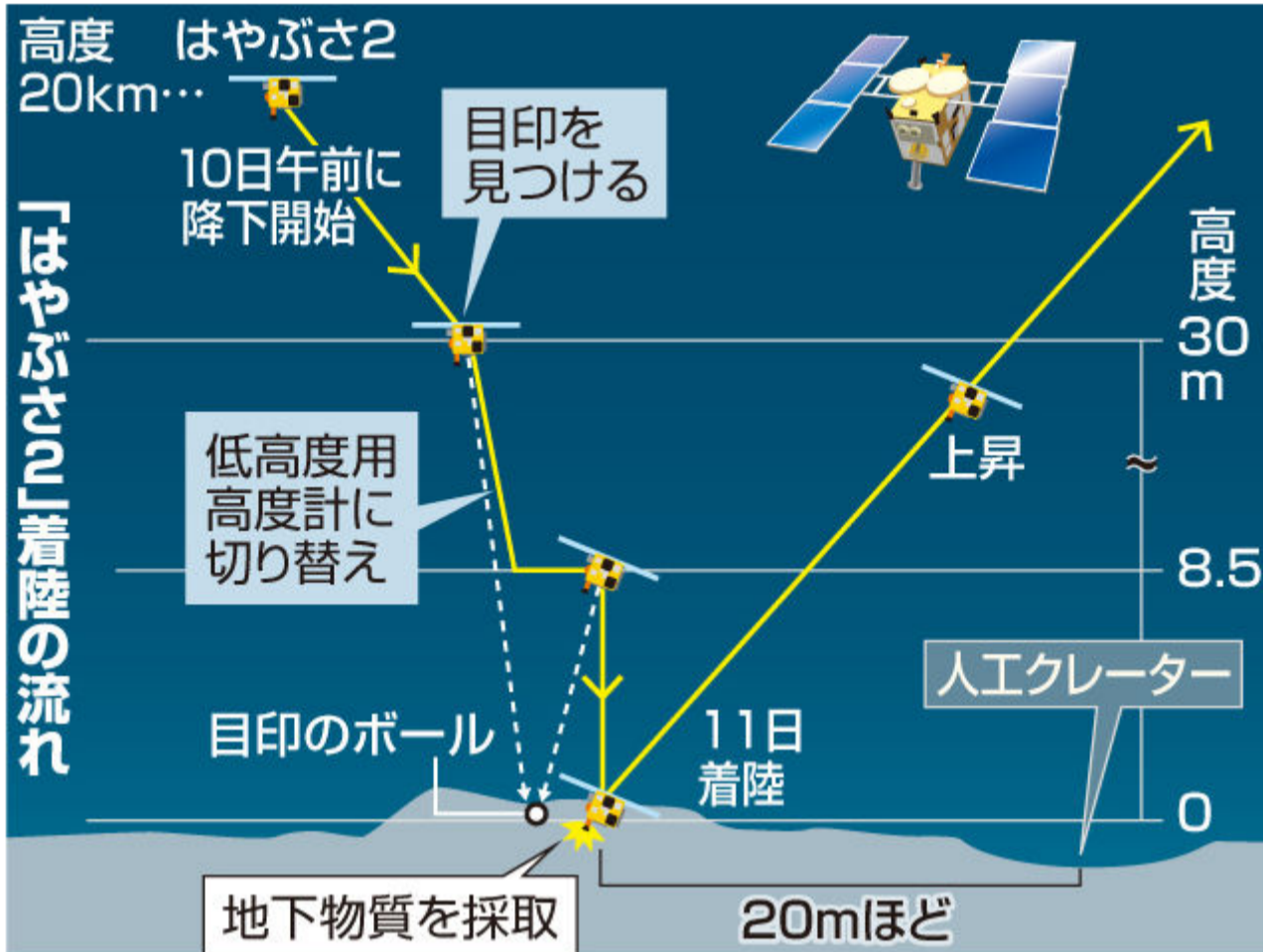
詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 地下物質採取成功か

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は11日、探査機はやぶさ2が小惑星りゅうぐうへの着陸に成功したことを確認したと発表した。地下物質の採取にも成功したとみられる。

ことに役立つと期待される。また、りゅうぐうの地下物質は非常に黒く、生物の材料となつた有機物が見つかる可能性もある。

着陸場所は人工クレーター1の中心から約20メートル離れた、幅約7メートルの領域。地下の物質が約1センチ降り積もっていると考えられている。機体は小惑星の表面に触れると、試料採取のための筒から小さな金属球を発射、舞い上がった岩石試料をキャッチする計画だ。りゅうぐうと地球は現在、2億5千万キロ離れており、通信には片道約14分かかると見られる。はやぶさ2は着陸の前後は自らの判断で行動する。



JAXAが11日午前6時56分に受信した、2回目の着陸に向け降下を続けるはやぶさ2が捉えた小惑星りゅうぐう。上空約1キロから

(JAXA提供)

購読・試読のお申し込みは—

フリーダイヤル 0120-81-8040